

東京から沖縄のサンゴのために“実践”できることは？

サンシャイン水族館「サン！サン！サンゴフェスタ」

2月27日(金)～3月29日(日)開催

恩納村とのサンゴ保全プロジェクト20周年の節目、 来場者の“行動宣言”がフラッグになり現地の保全活動にエール

サンシャイン水族館（東京・池袋）が、沖縄県恩納村と連携してサンゴの保全に取り組んできた「サンゴプロジェクト」は2026年4月27日で20周年を迎えます。これまで本プロジェクトで当館は「感じる（知る）・伝える・守る」をキーワードに、サンゴの展示を通じてサンゴの魅力やその大切さを発信し、恩納村の海の中ではサンゴを守り・殖やす活動をしてきました。20周年の節目となる今年（2026年）はサンゴをテーマにした複数のイベントを実施し、当館が取り組む“サンゴを守る”ための活動を通して“伝えたい”情報から、来場者がサンゴに興味を“感じ”、日常の中でサンゴ保全のために「実践する」きっかけを創ることを新たなテーマとして掲げます。

第1弾として、3月5日の「サンゴの日」を含む2月27日(金)～3月29日(日)の期間、「サン！サン！サンゴフェスタ」を開催し、サンゴをテーマにした展示・解説・体験型コンテンツや限定イベントなど、これまでの20年間の活動を通して得られた資料や地域との関係性を活かした複数の企画を館内各所で展開します。

なかでも象徴的な参加型企画は「サンゴ保全宣言フラッグ」の制作です。来場者が「サンゴのために自分ができる行動」を選び、その宣言の代わりにモノクロのサンゴ礁が描かれたフラッグに色別スタンプを押して、カラフルなサンゴ礁を完成させます。完成した来場者一人ひとりの想いが詰まったフラッグは、当館飼育スタッフが年に数回行う恩納村の海でのサンゴメンテナンス作業の際、現地に持って行き活動のエネルギーにつながります。

また、館内のショップでは海洋保全団体への寄付に繋がるグッズの販売を行い、単日限定イベントでは、楽しくサンゴ保全のための知識が学べる当館スタッフが発案したオリジナルの「サンゴすごろく」の企画など、“東京・池袋から沖縄・恩納村の海へとつながる”行動のきっかけづくりをこだわった、サンゴプロジェクト20周年ならではのコンテンツが目白押しです。



💡 3つのポイント 💡

1. 20周年の新テーマ：「感じる（知る）・伝える・守る」から、来場者の“実践”へ

これまでの「感じる・伝える・守る」をベースに、20周年の今年は、日常の行動に移す“きっかけづくり”を重視。水族館としての保全活動だけでなく、来場者とともに「サンゴのために何ができるのか」を考えます。

2. 来場者の“行動宣言”が形になり、沖縄・恩納村のサンゴ保全現場へ届く

来場者が選んだ「行動宣言」を色別スタンプで押してもらい「サンゴ保全宣言フラッグ」を完成させ、恩納村の海で行うサンゴメンテナンス作業の際、現地に持って行きます。一人ひとりのサンゴへの想いが“現場を支えるエール”となります。

3. 老若男女が楽しくサンゴについて知り、興味・関心を感じられる様々な企画を展開

期間中は、サンゴをテーマにした展示・解説や体験型コンテンツ、関連イベントなどを館内で横断的に実施。クイズ形式の解説や、飼育スタッフの解説付きガイドツアーなど、大人も子どもも楽しく学ぶことができます。

イベント概要

イベント名 : **サン！サン！サンゴフェスタ** (サンシャイン水族館！**3(サン)**月5日！**サンゴフェスタ** の略)
期 間 : **2月27日(金)～3月29日(日)**
会 場 : サンシャイン水族館
料 金 : 無料 (水族館入場料のみでお楽しみいただけます) ※一部コンテンツは有料

ウェブページ : https://sunshinecity.jp/aquarium/event_performance/event/entry-36428.html

サンゴプロジェクト20周年だからこそ、実践へのきっかけづくりを

20年間の活動の中ではサンゴの返還、産卵、生態系の再生を確認できることもあり、活動の積み重ねの成果を感じる嬉しいこともあれば、白化に伴うサンゴの死滅というつらく悲しいこともありました。恩納村海域におけるサンゴ礁の回復を、十数年の長い時間をかけて実感したと同時に、短期的な環境の影響により多くのサンゴが失われる衝撃も受けました。改めて、東京にある水族館としてできることをやらなければならないという想いが強くなり、お客様に知ってもらうだけでなく、実践へのきっかけづくりも大切にしていきます。



飼育スタッフ・サンゴプロジェクト担当
平井愛美 (ひらいなるみ)

活動を続けてきた恩納村海域では、サンゴ礁の再生とともに観察できる生き物も増え、サンゴ礁生態系が再生されていくのを体感できていました。一方で2024年の高水温の影響は甚大で、これまで順調に成長してきたサンゴの死滅を目の当たりにし、危機的状況を痛感しました。地球規模の課題に対して、私たち一人ひとりができることは、日々の暮らしの中で「小さな選択」を変えることです。それらの積み重ねが、やがて大きな影響になると思います。改めて水族館として、サンゴをはじめとした生き物と私たち人が共存していけるように、活動や発信を続けていきたいと思いました。

各企画の概要

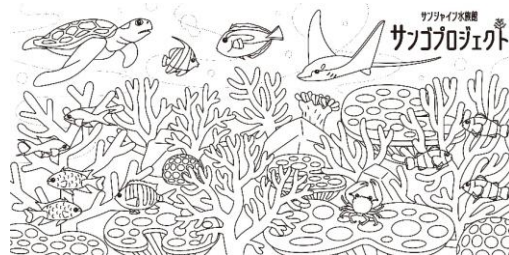
①【初企画】みんなの想いで彩り蘇る「サンゴ保全宣言フラッグ」

屋外エリア マリンガーデンでは、来場者参加型の企画を実施。

来場者は「サンゴを守るために自分が行動できること(＝行動宣言)」を選び、宣言内容にあてられた色のスタンプをフラッグに押します。

フラッグにはあらかじめ、白化したサンゴの海の様子がモノクロでプリントされています。スタンプが重なり増えていくほど、モノクロの海は少しずつ彩りを増し、「**白化したサンゴの海がカラフルなサンゴの海へと蘇る**」ビジュアルが完成します。

完成したフラッグは、5月以降に沖縄県恩納村の海で実施するサンゴプロジェクトのメンテナンス作業に持参し、現地で作業エリアに向かう際に持って行きます。来場者の想いを“現場”へつなぐとともに、プロジェクトメンバーを応援するフラッグとして活用します。



サンゴ保全宣言フラッグイメージビジュアル

②【初企画】サンゴプロジェクト20周年記念展示

サンゴプロジェクトの20年の歴史を辿る年表の展示ではこれまでのプロジェクトの実績や、道のりをご覧いただけます。

また、沖縄県恩納村での海中作業の様子を記録した映像の放映や、プロジェクト内で育てたサンゴの周りで見られた生き物たちを水槽で展示・紹介します。

サンゴを殖やすために行うメンテナンス作業の実際の様子をご覧いただけます。

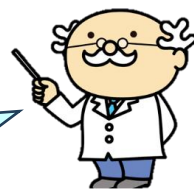


サンゴプロジェクト年表展示

③サンゴ博士のサンゴクイズ

サンゴプロジェクトの公式キャラクター「サンゴ博士」が、こどもから大人まで親しみやすいイラストを用いた解説で誰でも楽しみながらサンゴについて学ぶことができる、クイズパネルを展示。サンゴの基礎的なクイズや、模型を使ったクイズもあるので、見て、考えて、楽しめるクイズです。全問正解すればあなたもサンゴ博士になれるかも？

館内各所に
サンゴ博士から
サンゴについての
クイズが登場！



サンシャイン水族館 サンゴプロジェクト
公式キャラクターサンゴ博士

④売上の一部がサンゴの保全活動に活用される黒糖販売や、募金箱を設置

水族館2Fの「ショップ アクアポケット」では、売上の一部がサンゴの植え付けや保全活動に活用される「Sunna (サンナ) ちゃんの恩返し黒糖」や、プラスチックごみの削減に繋がるタンブラーなどのグッズを販売。

さらに、サンゴプロジェクト20周年限定企画として、募金箱を設置。集まった募金は、「サンゴの村宣言」をしている沖縄県恩納村に寄付され、サンゴの植え付けやサンゴの健康チェック、ビーチクリーンなどの活動に使用いたします。



Sunna (サンナ) ちゃんの
恩返し黒糖【432円】

※販売開始日はイベント
ウェブページで追ってご案内します。



サンシャイン水族館オリジナル
アクアリウムタンブラー【2,750円】

泳ぐペンギンと漂うクラゲ、2種類のデザインを気分に合わせて楽しめるタンブラー。毎日のドリンクタイムを楽しみながら、ペットボトルごみの削減や資源節約につながる環境に配慮したライフスタイルを取り入れてみては。

⑤探検ガイドツアー サンゴ特別編

水族館のバックヤードを巡る「探検ガイドツアー」が、期間限定でサンゴにフォーカスを当てた特別バージョンに。

普段はみることのできないサンゴを展示する水槽のバックヤードや飼育中の恩納村から預かった養殖サンゴを見ながら、飼育スタッフが展示の工夫や、飼育の裏側などをご紹介します。

日時：3月13日(金)～3月29日(日) 各日11:00～

定員：各日10名 (事前予約制 ※定員に満たない場合は当日販売あり)

料金：1,000円



⑥サンゴ教室

サンゴについてより詳しく学べるイベントを2日間限定で開催。当館オリジナルの「サンゴすごろく」を使って、サンゴを守るために今必要なことを遊びながら楽しく学ぶことができ、小学生以上のお子様におすすめの内容となっています。

日時：3月1日(日)・8日(日) 各日14:00～15:30

定員：各日20名 (事前予約制)

料金：1,200円

場所：サンシャインシティ 共創空間(株)サンシャインシティ事務所内



⑦サンナちゃん^{サンナ}と約束して あなたも「海の守り隊」になろう！



沖縄県恩納村の公式キャラクター Sunna ちゃんのはるばる池袋へ！恩納村の「海の守り隊」の仲間を探しにやってきます。

Sunna ちゃんに海を守る約束をすると、入隊の証として Sunna ちゃんステッカーをプレゼント！

一緒に写真撮影もできます。

※ステッカーは枚数に限りがあります。

日時：3月15日(日)、22日(日)

各日10:30～/13:30～ ※各回15分程度

場所：屋外エリア マリンガーデン

※天候によって実施場所が変更になる場合がございます。

コメント

恩納村 村長 長浜 善巳（ながはま よしみ）



恩納村では、「サンゴの村宣言」のもと、地域の皆様と力を合わせてサンゴの植え付けやビーチクリーン、サンゴの健康チェックなどに取り組んでいます。サンシャイン水族館様とは20年にわたり、東京と沖縄をつなぐ心強い連携を続けてきました。今回の募金も、恩納村のサンゴ礁を守る大切な力になります。来場者お一人おひとりの優しい想いが、豊かなサンゴ礁の未来につながっていくことを、心から願っています。

サンシャイン水族館 企画担当 岩渕智也（いわぶちともや）



「サンゴプロジェクト20周年」という、当館にとって節目のタイミングのサンゴイベントのため、サンゴのことをまだあまり知らないお客様にも、少しでもサンゴに興味を持ってもらえるようにイベントを考えました。水族館に来たらワクワクする方が多いと思うので、小さなお子様から大人まで、そのワクワクの延長でサンゴのことを知ってもらい、何が自分にできるのか考え、行動してもらえたら嬉しいです。今回のイベントでは、お客様がサンゴ保全を少しでも実践できるように、サンゴ保全につながる行動を促す展開もしていますので、一人でも多くのお客様にご来場いただき、サンゴや海、地球のための行動につなげていただけると幸いです。

サンゴプロジェクトについて

サンシャイン水族館の「サンゴプロジェクト」は、サンゴ礁の再生を願い、2006年より沖縄県恩納村の協力を得ながら継続している保全活動です。

多くの来場者が訪れる都心の水族館であるという強みを活かし、サンゴの生体展示によりサンゴの魅力を感じていただいたり、プロジェクトの進捗報告を通して沖縄の海やサンゴの現状を知っていただいたりする発信拠点の役割を担うと同時に、当館で恩納村産の養殖サンゴを預かり飼育することで、自然災害等に備えDNAを保管する役割も担います。

本プロジェクトの大きな特徴は、実際に当館の飼育スタッフが現地の海を活動エリアとしてサンゴを殖やすための保全活動も行う点です。プロジェクトは、母サンゴから枝打ちして池袋の水槽で育て、成長したサンゴを沖縄の海へ還す「サンゴ返還プロジェクト」と、恩納村海域で育成したサンゴが産卵・受精（有性生殖）することでサンゴを殖やす「サンゴ礁再生プロジェクト」という2つの活動で構成されています。

返還プロジェクトでのこれまでの総植え付け数は114群体にのぼります。また再生プロジェクトでは、受精した卵の一部を池袋の水槽で育て、沖縄の海へ戻してきました。プロジェクトの年数経過に伴い、サンゴの成長に合わせて生き物が周辺に集まったりするようになり、産卵の場面に立ち会えたり、生態系の再生が確認されつつありましたが、2024年夏に猛暑などの影響から大規模な白化現象に見舞われ、本プロジェクトで見守っていたサンゴも大ダメージを受けてしまいました。プロジェクトメンバーが受けたショックはとても大きいものでしたが、その思いを自らの声でより多くの方に届けることに意義があると信じて活動を続けていきます。



沖縄県恩納村の海でのメンテナンス作業の様子

ウェブサイト：https://sunshinecity.jp/file/aquarium/coral_project/



■サンシャイン水族館(通常営業) 概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間：10:00～18:00 ※最終入場は終了30分前 ※時期や特別営業時等により変動

入場料：大人(高校生以上)2,600円～3,200円、こども(小・中学生)1,300円、幼児(4才以上)800円 ※時期や特別営業時等により変動

問合せ先：サンシャイン水族館 03-3989-3466 <https://sunshinecity.jp/aquarium/>

※土・日・祝日及び特定日は、日時指定チケットの購入または日付指定WEB整理券の取得をおすすめします。詳しくは、水族館 ウェブサイトをご確認ください。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・大木・佐藤・藤村・小山・大浦
TEL.03-3989-3329(平日9:30～18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部 5局2部 内山・志野・高橋
TEL. 03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp